



ふれあい 放水路

2002
(平成14年)
第103号
10月



彼岸花

九月中旬の彼岸の頃、田んぼや河岸の土手などで、珍しい形をした鮮やかな紅色の花を目にします。

これは秋の花「彼岸花」です。まるで体内時計でもあるかのようじ、決まって彼岸の頃に咲くことからこの名前がついたと言われています。

全国的に分布し、昔から馴染みのある花ですが、日本古来のものではなく、その昔、中国から渡ってきたもので、輪状に花をつけるその姿から別名「曼珠沙華」(天上の花の名)ともいわれるようです。地域によってはあまり良いイメージを持たれませんが可憐な花で、最近では赤だけでなく白や黄色の花をつけるものもあるようです。

崎屋橋から新崎屋橋にかけて続く堤防でも真っ赤な絨毯を敷き詰めたように彼岸花が咲き乱れています。紅葉にはまだ早いこの時期、彼岸花の紅色はひととき鮮やかで、秋の風景に彩りを添えています。

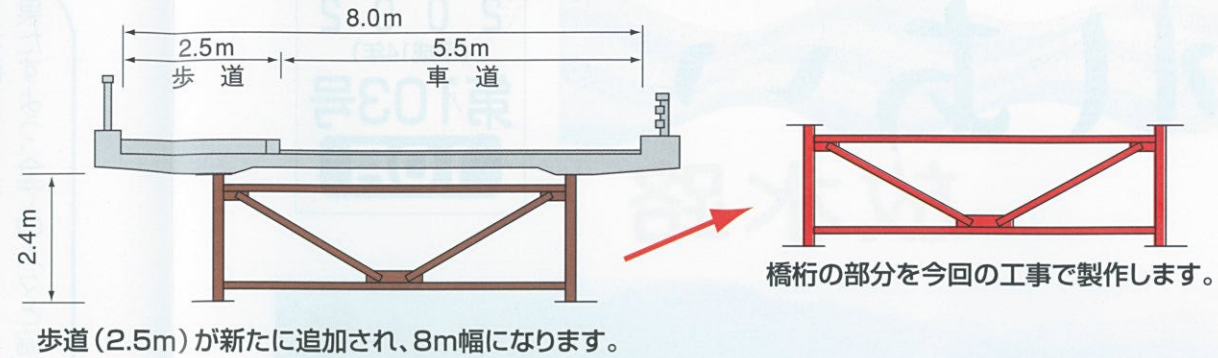
馬木大橋の施工進捗状況について

新しい馬木大橋は、橋台や橋脚の施工が平成14年3月に完了し、現在、上部工（橋桁）を千葉県の工場で作成しています。架設までの間は工場での作業となるため、みなさんは現地での作業状況が見えませんが、工場では11月からの架設に向けて着々と準備が進められています。

今回は、新しい馬木大橋上部工の工場製作がどのように進んでいるのかを紹介します。



新しい馬木大橋の構造図



橋桁の工場製作状況



原板の鋼板を所定の大きさに切断した後、工場内で組み立てを行っている状況です。



組み立て終了後、自動溶接機で溶接を行っている状況です。主桁を倒した状態で作業しています。

上部工事の流れ



工場作業

現場作業

※上部工事完了後、橋面工・取付道路等の施工を別途工事で行います。

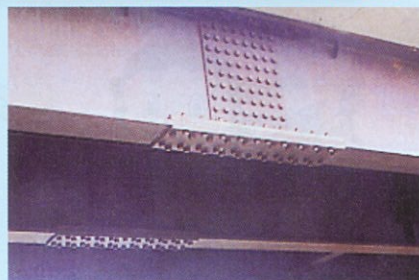
～サビ安定処理について～

馬木大橋の橋桁は、鋼製の材料を使用しています。

鋼製の橋桁は、通常、腐食（サビ）を防止するために塗装しますが、数年周期に劣化した塗装の塗り替えが必要となります。そこで、馬木大橋では鋼製の材料に無塗装用鋼材を使用し、緻密なサビ層をつくって塗装の代わりにします。これにより、塗装と同じ効果が期待される上、塗り替えの必要がなくなります。

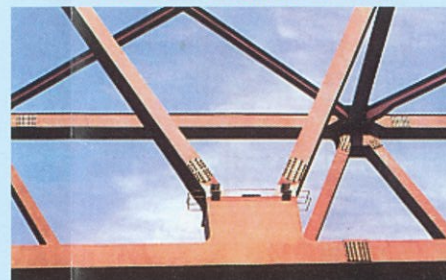
今回の塗装はサビをじっくり熟成させ、安定化させる処理剤を塗布しています。

さび 錆安定処理剤塗布後

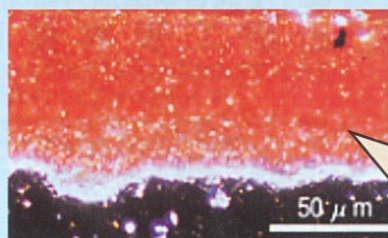


塗装直後は黒色です。

錆安定（最終形状）



最終的には茶褐色となります。



顕微鏡で見た橋桁の断面です。オレンジ色が安定処理剤で、白色が安定サビ、黒色が鋼材です。処理剤の下で0.02mmの安定サビが出来ています。サビの上の安定処理剤は風化して最終的に茶褐色の安定サビが表面に出てきます。

◆工事現場から一言◆

本工事、馬木大橋は鋼橋上部の設計照査、製作、架設までが施工範囲となっており、千葉県富津市の工場にて製作が完了し、現在サビ安定処理剤を塗布しています。

今後、10月より現場事務所を設置して架設の準備に入ります。架設完了予定の平成15年2月まで安全に留意しながら進めたいと思います。

住民のみなさまのご協力の程、宜しくお願い致します。



現場代理人（工場製作） 竹本 智

ふれあい放水路

通信

コミュニティセンターだより

「ゆるおいと安らぎのまちづくり」

神西コミュニティセンター長 園山 経彦

神西には、出雲市唯一の湖があり、天然資源が豊富で、市民に恩恵を与えています。

その景観美は、眺める場、時により変化に富み、古来より神西湖九景と言われてきました。

今、神西湖東岸の整備が進捗し、鳥観察舎、展望舎、魚釣り場等が新設され、訪れる市民が多くなりました。十五年度から、水質浄化に有効な水生植物公園や遊歩道等の整備も進み、市民のうるおいと安らぎの場となることでしょう。

湖に注ぐ川は九本で、南山途中からの六本の小川は、降水時以外に常時生活排水であり、他に平野部東側からの一本も生活排水川であります。最も大きな川である差海川は、湖の水位調整機能を果たしておりますが、日本海からの海水が日々の満潮時に大量に流入し、汽水湖が海水湖になり問題です。

他に十間川であり、神戸川の清流の一部が朝山町馬木大井堰より流入し、湖の水質浄化に役立っておりますが、水量が少ない土に流域住民の生活排水が混入して汚濁しており、神西湖の水質への不安と危機感を地区民全てが強くしております。

豊富な神戸川の清流を常時大量に流入しないと、祖先の残した市民のかけがえのない宝物である神西湖が死滅するので、早く清らかな湖にする責務があると言われております。

地域では、自分たちでできることから、環境保全や美化活動一斉活動等を二十年も前から進めており、下水道普及と共に生活排水浄化運動「ゴミ持ち帰り運動等」で一人一人の心がけをよくして、こうと計画的に継続的に進めております。

神西コミュニティセンターは、まちづくりの拠点としてその働きを果たすよう、全ての人々と協力していくよう努めたいと思っております。

古志町で写生大会開催!

九月二十一日、古志町ふるまちなみ推進協議会などの主催で、出雲市古志町の古志大橋周辺を会場に、「第五回出雲市民写生大会」が開催されました。

これは古志大橋の完成に伴い、近く古志橋が解体されるため、二つの橋を題材に取り上げた風景を描こうというもので、午前九時半の開催の合図とともに、参加者は各々が気に入った場所に移動し、持参した用具を広げて絵を描き始めました。

心地よい初秋の風を感じながら、参加者は軽快に筆を滑らせ、仕上がった絵の出来ばえに皆満足そうな表情を浮かべていました。



<神西コミュニティセンターのみなさん>



国土交通省中国地方整備局
出雲工事事務所

〒893-0023 出雲市場治有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850
メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/tyousi.htm

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先: ふれあい放水路担当
放水路工事室 事業対策官

斐伊川放水路の工事实施状況 (平成14年9月以降)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 下流部用地管理その2工事	(株)浜村建設	自 H14年10月17日 至 H15年3月31日
斐伊川放水路 工事用道路管理その2工事	長浜工業(株)	自 H14年10月19日 至 H15年3月31日
斐伊川放水路 上流部用地管理その2工事	(株)谷本組	自 H14年10月22日 至 H15年3月31日